

船舶事故等調査報告書

平成26年11月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014神第85号
事故等種類	被引浮体搭乗者負傷
発生日時	平成26年7月20日（日） 12時20分ごろ
発生場所	和歌山県白浜町臨海浦海水浴場北西方沖 白浜町所在の番所 ^{ぼんしよ} 鼻灯台から真方位063°420m付近 （概位 北緯33°41.7′ 東経135°20.3′）
事故等調査の経過	平成26年7月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 水上オートバイ MARINE HEARTBEAT、0.2トン 252-26367和歌山、個人所有 B 水上オートバイ マズー、0.1トン 252-26355和歌山、株式会社尼電メンテナンス
乗組員等に関する情報	A 船長A、特殊小型船舶操縦士 B 船長B、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	A なし B 軽傷 1人（搭乗者B）
損傷	なし
事故等の経過	<p>A船は、船長Aが1人で乗り、臨海浦海水浴場（以下「本件海水浴場」という。）北方沖に向かうため、約8ノット（kn）の速力（対地速力、以下同じ。）により、本件海水浴場北西方に存在する水上岩（以下「本件水上岩」という。）に向けて東進していた。</p> <p>船長Aは、本件水上岩の手前まで到達したので、ゆっくり左転して進路を北方に向けていた際、南西進しているB船に気付いたものの、B船と本件水上岩の間を航行すれば、安全に航行できると思い、左転を続けていたところ、本件水上岩の陰に隠れていた‘2人掛けのソファのような形状をしたチューブボート’（以下「本件浮体」という。）に気付いて衝突のおそれを感じ、ハンドルを左一杯としたが、平成26年7月20日12時20分ごろA船の右舷船尾と本件浮体とが衝突した。</p> <p>B船は、船長Bが1人で乗り、本件浮体の右側に搭乗者Bを、左側にほか1人を乗せ、約18mのロープを用いてえい航し、本件水上岩に向けて約3knの速力により、本件海水浴場北西方沖を南西進していた。</p> <p>船長Bは、A船を右舷前方に認め、A船が左転したことにより、右舷対右舷で通過した後、搭乗者が上げた声に気付き、異変を感じてB</p>

	<p>船を停止して本件浮体を引き寄せ、A船が、本件浮体に衝突し、搭乗者Bにも接触したことを知った。</p> <p>船長Bは、集合場所に戻り、僚船を和歌山県田辺市所在の所属マリナーナに向かわせて救急車の手配を依頼し、搭乗者Bは、搭乗者Bの親族と共に本件浮体に乗し、A船にえい航されて田辺漁港に入港し、待機していた救急車で病院に搬送され、右臀部の打撲と診断された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 西南西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏</p>
その他の事項	<p>本件水上岩の大きさは、本事故当時、海面上高さが約1m、幅が約3～5mであった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B なし</p> <p>A なし、B なし</p> <p>A なし、B なし</p> <p>A船は、白浜町の本件海水浴場北西方で左転中、船長Aが、南西進しているB船に気付いたものの、B船と本件水上岩の間を航行すれば、安全に航行できると思い、左転を続けていたところ、本件水上岩の陰に隠れていた本件浮体に気付いたことから、衝突のおそれを感じ、ハンドルを左一杯としたが、本件浮体と衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、本件海水浴場北西方沖で本件浮体をえい航して南西進中、船長Bが、A船を右舷前方に認め、A船が左転したことにより、右舷対右舷で通過した後、搭乗者が上げた声に気付き、異変を感じてB船を停止して本件浮体を引き寄せ、A船が、本件浮体に衝突し、搭乗者Bにも接触したことを知ったことから、船長Bは、A船と本件浮体とが衝突するおそれを感じていなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、白浜町の本件海水浴場北西方において、A船が左転中、B船が本件浮体をえい航して南西進中、船長Aが、南西進しているB船に気付いたものの、B船と本件水上岩の間を航行すれば、安全に航行できると思い、左転を続けていたところ、本件水上岩の陰に隠れていた本件浮体に気付いたため、ハンドルを左一杯としたが、A船と本件浮体とが衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害物の付近を航行する際は、可能な限り、障害物から離れ、障害物による死角を小さくして航行すること。 ・ 水上オートバイで遊走する際は、他船に接近しないこと。